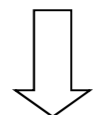


## 小野長寿の郷構想の基本概念

### 現状と課題

<b>①対象地、周辺状況の変化</b> 医療施設の整備や東播磨南北道路の計画等による土地利用の可能性の拡大	<b>②社会情勢、将来予測</b> 高齢者総数は30年後以降減少傾向にあり、多世代を対象としたシステムが必要	<b>③対象地周辺の特色</b> 対象地周辺のまちづくり事業等を踏まえた、対象地における今後の展開や連携を考える必要	<b>④自然を活かした新たな仕組みづくり</b> 医師、園芸療法士、森林インストラクター等の専門家が参加する仕組みづくり
--	---	---	---



### 基本概念

多自然地域で三世代が交流する健康・安心・生きがいのまちづくりモデル

### 基本方針

#### 健康

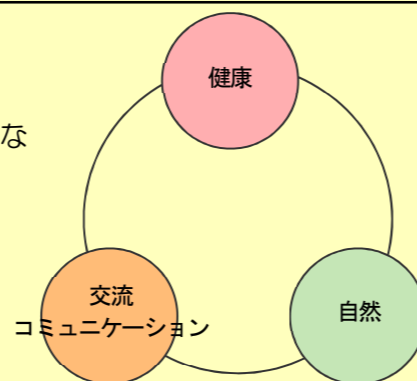
医療施設をはじめ、医療周辺施設や医療関係企業の誘致等を行い、利用者が健康的な日常生活を送るための機能を提供する。

#### 交流・コミュニケーション

ボランティアや専門家、一般利用者等様々な人々が集まり、支え合いや声をかけあったりできる場所、自らが主役になれる場所となるプログラムや施設を提供する。

#### 自然

対象地内の広大な自然環境等を最大限に活かし、様々なレクリエーション活動や健康増進プログラム、各種療法等を、自然の中に展開する。



### めざすもの

#### ① 生きがいのある生活空間の創造

利用者一人一人が、やりがいのある活動に取り組み、生きがいと誇りを持って暮らすことができる生活空間を創造

#### ② 安心できる生活空間の創造

医療・健康・福祉等の様々なサービスの充実を図るとともに“こころ”と“からだ”を癒やしながら、安心して暮らせる生活空間を創造

#### ③ 親と子の生活空間の創造

子育て支援プログラムや、児童が創造性をもって元気に運動できるプレイパーク等を設置し、子どもの元気な声が聞こえる生活空間を創造

#### ④ 循環型のまちづくり

健康な人や治療中の人等の身体の状態に合わせた活動や、三世代型の持続的なライフスタイルが可能な生活空間を創造

#### ⑤ ふるさとの創造

美しい自然や温かい人間関係が豊かに息づく、都市住民の安心空間としての新しい“ふるさと”を創造

# 小野長寿の郷構想

理想の長寿社会の実現をめざす新しいまちづくり

—改訂版—



兵庫県

## 構想対象地

構想対象地は、山田地区と市場地区に分かれており、全体で約 270ha あります。山田地区と市場地区とも標高 90~130m の丘陵地で、良好な自然環境を有しています。両地区の間を流れる山田川の周辺には田園風景が広がっています。

- **山田地区**：良好な緑環境を活かした住宅ゾーンとして、多世代が暮らすまちづくりを目指します。
- **市場地区**：メディカルゾーンにおける安心・安全の提供のほか、健康交流拠点ゾーン、森ゾーン等、来訪者や地域住民が多世代にわたって自然とふれあい、楽しみ、学ぶことができる参加体験型空間、多様な生きがい就労の場の創造を目指します。

## 導入機能とゾーニングイメージ

### メディカルゾーン

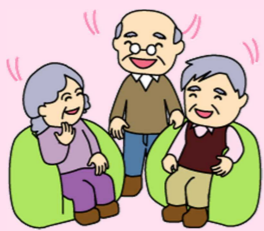
国道 175 号と新都市中央線の結節点に「北播磨総合医療センター」と「兵庫あおの病院」が整備されています。



「北播磨総合医療センター」は主に北播磨圏域を対象とした急性期病院として、「兵庫あおの病院」は重症心身障害児(者)病床及び回復期病床を有する国立病院機構の病院として、互いに連携を図り高度な治療を行います。

### 医療周辺ゾーン

メディカルゾーンに隣接する豊かな自然環境の中で、福祉施設等の誘致により、メディカルゾーンと連携した新たな生きがいづくりの舞台となるゾーンとします。

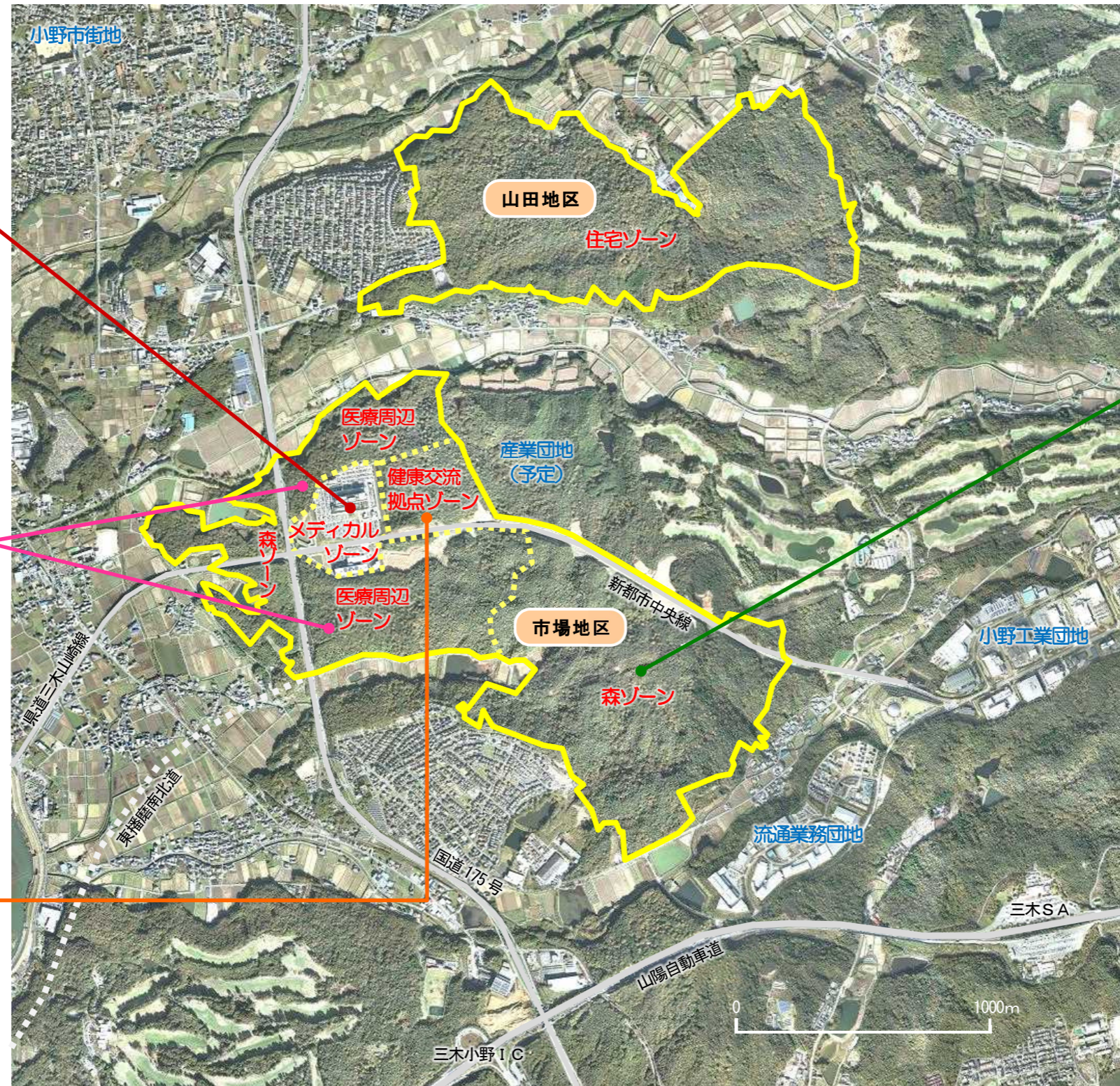


特別養護老人ホームやグループホーム等の整備を進めるとともに、これからの医療・福祉の現場を支える人材育成のための施設誘致についても検討します。

### 健康交流拠点ゾーン

来訪者と地域住民の交流・活動拠点となるゾーンとします。

交流センター(拠点施設)や公園、広場、ファーム等を配置し、子どもから高齢者まで様々な世代が交流する場として、花植えボランティアや園芸療法を促進するための場として整備します。



## 構想対象地の位置

構想対象地は、山陽自動車道三木小野 IC から北に約 2km、中国自動車道滝野社 IC から南に約 10km の国道 175 号沿いにあり、三宮まで約 25km とアクセスに恵まれています。



### 森ゾーン

アベマキやコナラ等樹種が豊かで環境林として自然を保全する区域です。



医療周辺ゾーンや健康交流拠点ゾーンに関わり、プレベンション(予防)やリハビリテーションのほか、創作活動、自然の中の暮らし体験等の場として活用を図ります。